

令和5年度 地元産業界等との連携した実践的PBLを含む  
授業科目等の開講の実施

1. 連携している地元産業界等の組織名称

函館市

2. 当該授業等を実施する学部・学科

コミュニティ総合学科

3. 当該授業等を開講する目的

函館市の若者の地元定着支援

4. 当該授業等の具体的な内容

函館市や企業が抱えている課題に対し、学生がチーム別に取り組み、調査・分析及び企画を行い、課題に対するソリューションを提案していく問題解決型の授業（集中型）である。

函館市経済部雇用労政課の担当者から函館市の抱えている人口減少、特に若者の人口流出に関する背景や状況について説明を受けたうえで、函館市の若者の地元定着支援となる取り組みを検討・実施することとした。

函館市内の求職情報の調査や学生間の聞き取り調査などを通じて、学生が得られる企業の求人情報と得たい求人情報の間に差異があり、求人・応募・採用の結びつきが強い点が就職に伴う若者の人口流出の一因であるとの仮説を立て活動することとした。

近年注目されている企業紹介動画を分析し、若者に評価される要素を見出した。その点を取り入れた企業紹介動画の撮影を函館市内の企業に依頼し、1本3～5分程度の動画を完成させた。